

平成28年度 自己評価表

<p>中長期目標 (学校ビジョン)</p>	<p>社会人として通用する人間を育てる</p>	<p>今年度の 重点目標</p>	<p>①生徒指導の充実:「時を守り、場を清め、礼を正す」「大きな声で校歌を歌う」 ②「確かな学力」の定着:基礎学力の定着+キャリア教育の充実+自信と誇りの育成 ③地域との連携を推進する</p>
---------------------------	-------------------------	----------------------	--

年度当初					評価結果 ()月			
評価項目	評価の具体項目	現状	目標(年度末の目指す姿)	目標達成のための方策	経過・達成状況	評価	改善方策	
1. 生徒指導の充実:「時を守り、場を清め、礼を正す」「大きな声で校歌を歌う」	(時を守る) ・規則正しい生活習慣が身に付き、毎日を健康に送ることができている。 ・遅刻、欠席がなく、授業の始まる前には準備が整い、意欲を持って学習に臨んでいる。	・8割以上の生徒は朝食を摂取して学校に登校している。一方、保健室の利用件数は前年度より増加傾向であった。 ・欠席、登校遅刻は減少傾向(絶対数)である。また、授業準備状況はほぼできているが、授業遅刻を繰返す生徒も存在している。	・健康や安全に対する意識が高く、食事や睡眠を大切にしていた規則正しい生活習慣のもとに学校生活を送ることができている。(学校評価アンケートで「思う」とする割合が昨年度より10%向上) ・学校を中心に据えた行動意識が醸成され、学校生活のルールに基づいた学習習慣が定着している。(欠席・遅刻者数が昨年度より10%減少)	・保健だより等をとおして生徒・保護者に規則正しい生活と健康の大切さを啓発する。 ・生徒面談において、必要な生徒に対して生活指導を行う。 ・家庭への連絡を一層充実し、保護者と連携して生活習慣の改善を図る。 ・「入室許可願い」の取組をもとに意識啓発を行い、授業遅刻の減少を図る。 ・「学習力」指数により事後指導を行う。				
	(場を清める) ・毎日の清掃活動を大切にし、気配りのある行動がとれている。 ・学校内が清潔に保たれ、整理・整頓が行き届いている。	・朝の清掃活動には、職員の指導の下で概ね取り組んでいる。 ・机の周りや個人ロッカー内の整理・整頓が不十分である。	・美化意識が高く清掃活動が丁寧に行われるとともに、環境資源に配慮したゴミ処理ができている。(学校評価アンケートで「思う」とする割合が60%) ・身の周りの整理・整頓ができている、学習環境を整える習慣が定着している。(学校評価アンケートで「思う」とする割合が昨年度より10%向上)	・朝の清掃活動をとおして美化意識を高める。 ・環境教育LHR等でゴミ処理について啓発を行う。 ・委員会活動で環境整備の意識の高揚を図る。 ・定期的に教室等の整理・整頓指導を実施する。(ロッカー点検の実施)				
	(礼を正す) ・明るい笑顔で気持ちの良い挨拶ができる。 ・丁寧な言葉遣いと制服の正しい着こなしが保たれている。	・生徒会によるあいさつ運動等によって自発的に挨拶できる生徒が増加している。 ・言葉遣いや制服の着こなしは向上しつつあるが、不十分な面もある。	・明るい笑顔で自発的な挨拶ができ、社会性を身に付けて「場・時・人」に応じた正しい言葉遣いができる。(学校評価アンケートで「思う」とする割合が昨年度より10%向上) ・頭髮服装規程を順守する意識を高め、正しく制服を着こなすことができている。(学校評価アンケートで「思う」とする割合が昨年度より10%向上)	・マナーアップ運動や生徒会のあいさつ運動により継続的な啓発活動を実施する。 ・教員の共通理解のもと、カード指導を含め毅然とした姿勢で指導するとともに、丁寧に粘り強い指導を継続する。				
	(大きな声で校歌を歌う) ・式典や学校行事で校歌を大きな声で歌うことができ、滲刺とした雰囲気全体に満ちている。	・式典等では整列状況に課題があるものの整然とした集会集合ができている。 ・「校歌を大きな声で歌う」については、一部の生徒で声のでているものはまだ不十分である。	・各集会において整然とした整列集合ができ、式典等で滲刺として校歌を歌うことができている。(学校評価アンケートで「思う」とする割合が昨年度より10%向上)	・集会時における年次ごとの整列集合指導を一層徹底し、整然とした集合の定着を図る。 ・学校行事や特別活動の機会をとおして、学校に対する帰属意識や誇りをもたせるように働きかける。				
2. 「確かな学力」の定着:基礎学力の定着+キャリア教育の充実+自信と誇りの育成	(基礎学力の定着) ・丁寧な学び直しが行われている。 ・学びに対する満足度が高く、真摯な態度で学習に臨んでいる。	・基礎学力診断テストの成績下位層が少しずつ減少している。 ・学習に対する生徒の満足度が高く、真摯な態度で学習に取り組んでいる。(学習力指数が2.5以上及び、授業評価アンケートの結果全項目が3.0以上)	・基礎力診断テストのDゾーンの人数が前年度に対して10%減っている。 ・将来の社会生活を見据えた進路目標を見定め、意欲的に努力を積み重ねている。(基礎力診断テストの進路学習取り組み度の向上)	・学力向上プロジェクトを中心に丁寧な学び直しを行うとともに、学ぶ意欲を向上させる授業改革を進める。 ・生徒面談をとおして生徒理解を図り、個々の生徒に応じたアドバイスを行う。				
	(キャリア教育の充実) ・将来の社会生活や職業を見据えた科目選択と進路決定がなされている。 ・進路に係る教科外活動にも積極的に取り組んでいる。	・学校評価アンケートで将来や職業、進路について考えている割合が80%を超えている。 ・目標を持っていても、その実現に向けた方策や行動ができない生徒が存在する。	・生徒会活動や委員会活動において、自主的で活発な取り組みが見られ、生徒個々の参加意識や貢献意識が高い。 ・多くの生徒が部活動に継続的に取り組み、学習との両立に努力し、高い満足と自信と誇りを持っている。	・「産業社会と人間」、「総合的な学習の時間」、「課題探究」等の科目をとおして、各年次に応じて、生徒自らのキャリアデザインの意識を高揚させる。 ・進路に関する校外での活動にも積極的に取り組ませる。				
	(自信と誇りの育成) ・生徒会活動や学校行事に積極的に参加している。 ・部活動が活発で、活動への意欲が高い。	・体験的学習や学校行事に意欲的に参加する生徒、あいさつのできる生徒が増加しつつある。 ・部活動への加入率が徐々にではあるが上昇し、大会等での結果にも成果が表れる傾向にある。		・地域等のボランティア活動や体験的活動などの様々な場面で生徒に達成感を持たせる。 ・部活動が自分を成長させる大切な場であることを啓発し、加入を促進するとともに継続的に取り組ませる。				
3. 地域との連携を推進する	(地域への情報発信) ・学校の特色や生徒の活動などが適宜発信され、保護者、地域の理解度が高い。 ・生徒の校外活動が積極的で、地域からの理解や信頼が厚い。	・PTAの協力のもと、PTA広報誌を定期的に発行するとともに、学校行事等はホームページで速やかに発信している。ただし部活動の情報発信が遅れがちであった。 ・地域の活動やボランティア活動に参加している。 ・社会人講師や地域の有識者に協力していただき講演などを開催している。 ・学校評議員会などを開催し、外部の方のお考えを聴いている。	・PTA広報誌の定期的発行に協力し、学校ホームページを時宜を逃さずに更新し、情報を発信する。 ・生徒が地域の活動やボランティア活動に積極的に参加し、地域からより大きな期待と信頼を得る。 ・学校行事やPTA諸活動に地域の社会人講師を招き、PTA総会をはじめとする行事への保護者の参加率が昨年度より向上する。 ・地域、保護者の方から学校運営へ一層の協力が得られ、学校評議員や地域の有識者と定期的な意見交換を行う。	・複数の教職員で、学校ホームページなどを運用し、時宜を逃さない情報発信ができるように取り組む。 ・地域の協力のもとでボランティアなど校外における体験的な活動を生徒に積極的にすすめる。				
	(地域人材の活用) ・社会人講師等による多様な講演や研修が行われている。 ・学校評議員や地域の有識者との意見交換が定期的に行われている。			・青谷高校の現状や課題に即した講演会や研修を企画し、外部有識者の活用を一層促進する。 ・学校評議員や地域人材との一層の連携を進める。				